

# 2025年度 第3四半期決算

期間：2025年4月1日～6月30日

2025年8月7日、ドイツ・ミュンヘン

## 堅調な業績が続く ― 見通しを据え置き

「当社の第3四半期の業績は、変動の激しい世界市場にもかかわらず、シーメンスが堅調な業績を上げていることを示しています。受注、売上、純利益のいずれにおいても、持続的な成長の勢いを維持しています。デジタル化とサステナビリティが、引き続き当社の成長を牽引しています。さらに、Dotmaticsの買収を完了したことで、ライフサイエンス分野で新たな市場を開拓し、科学的知見と当社の産業AI技術を融合させています。」とシーメンスAG 代表取締役社長兼CEOのローランド・ブッシュは述べています。

「第3四半期には、29億ユーロという素晴らしいフリーキャッシュフローを計上しました。そして、通期のフリーキャッシュフロー利益率も再び2桁を目指しています。今後も、持続可能で収益性の高い成長を実現できると、私たちは強く確信しております。2025会計年度の業績見通しを据え置きます。」と、シーメンスAG CFOのラルフ・P・トーマスは述べています。

- ・ 受注は、モビリティ部門の大量注文による取引量の急激な増加に牽引され、通貨換算とポートフォリオの影響を除くと、比較可能ベースで28%増。また、ほとんどのインダストリー事業の増加により、売上は5%増加
- ・ 名目ベースでは、受注額は25%増の247億ユーロ、売上は3%増の194億ユーロで、出荷額に対する受注額の比率（以下、BBレシオ）は1.28と堅調
- ・ インダストリー事業の利益は28億ユーロで、利益率は14.9%
- ・ 純利益は22億ユーロに増加、対応する1株当たり基本利益（EPS）は2.61ユーロ、購入価格配分会計前のEPS（PPAあたりのEPS）は2.78ユーロ。また、2025年度第2四半期末と2025年度第4四半期初頭に予定より早く買収に成功したAltairとDotmaticsに関連する影響により、PPA前のEPSは0.15ユーロ増加
- ・ すべてのインダストリー事業の改善を含む、継続事業および非継続事業からの優れたフリーキャッシュフローは29億ユーロ（2024年度第3四半期：21億ユーロ）

**SIEMENS**

シーメンス

(単位：100万ユーロ)	第3四半期		増減%	
	2025年度	2024年度	実績	比較
受注	24,719	19,782	25%	28%
売上	19,377	18,900	3%	5%
利益 (Adjusted EBITA)				
インダストリービジネス	2,820	3,033	(7)%	
内：退職手当	(120)	(62)		
利益率 (Adjusted EBITA)				
インダストリービジネス	14.9%	16.5%		
退職手当を除く	15.6%	16.9%		
継続事業からの利益				
	2,222	2,158	3%	
内：退職手当	(143)	(76)		
非継続事業からの利益、 (税控除後)				
	21	(25)	n/a	
純利益	2,243	2,133	5%	
基本1株あたり利益 (単位：ユーロ)	2.61	2.51	4%	
PPA前のEPS (単位：ユーロ)	2.78	2.66	5%	
フリーキャッシュフロー (継続事業と非継続事業)				
	2,918	2,121	38%	
キャッシュ・ コンバージョン・レート	1.30	0.99	31%	
ROCE (継続事業と非継続事業)	14.6%	17.3%		

- モビリティ部門の受注は、大口受注の量が大幅に増加したことにより3倍以上となりました。一方、スマートインフラストラクチャー部門とデジタルインダストリーズ部門は、前年の好調だった四半期と比較して、緩やかな減少を報告しました。
- 売上高は、モビリティ部門の大幅な増加に牽引され、ほとんどのインダストリー事業で成長しました。デジタルインダストリーズ部門は、非常に高かった比較基準（前年同期の好調な実績）から、ソフトウェア事業で減少となりました。
- 通貨換算の影響により、受注成長率は4パーセント、売上成長率は3%減少しました。全体として、ポートフォリオ取引が事業量の推移に与えた影響はごく僅かでした。
- インダストリー事業の利益は、2024会計年度第3四半期のソフトウェア事業における並外れて好調な業績の後を受け、デジタルインダストリーズ部門で大幅に減少しました。その他のインダストリー事業はすべて利益と収益性を向上させ、中でもスマートインフラストラクチャー部門が最も貢献しました。
- インダストリー事業以外の業績は、とりわけ、空港物流事業の一部売却完了による2億ユーロの利益の恩恵を受けました。
- インダストリー事業は、第3四半期に30億ユーロという堅調なフリーキャッシュフローを生み出しました。これは2024会計年度第3四半期の25億ユーロから増加しており、すべてのインダストリー事業で改善が見られました。税金支払いのための現金流出額は8億ユーロで、前年同期の12億ユーロと比較して減少しました。
- シーメンスは、最長40年の様々な満期を持つ70億米ドルおよび40億ユーロの債券を発行しました。これらの支払いはフリーキャッシュフローには含まれません
- 2025年6月30日現在の年金および同様の債務の引当金は8億ユーロで、2025年3月31日と同じ低水準です。
- 純利益の増加が、Altairの買収による平均資本の大幅な増加によって相殺されたため、使用資本利益率（ROCE）は低下しました

【参考資料】

本資料はシーメンスAG（ドイツ、ミュンヘン）が2025年8月7日（現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に抄訳したものです。本資料の正式言語はドイツ語および英語であり、その内容および解釈についてはドイツ語、英語が優先します。原文プレスリリースおよび関連資料は以下の URL よりご覧いただけます（英文）。

<https://press.siemens.com/global/en/pressrelease/earnings-release-and-financial-results-q3-fy-2025>

報道機関からのお問い合わせ先:

シーメンス株式会社 広報代理  
株式会社プラップジャパン 佐藤、藤井  
E-mail: [siemens@prap.co.jp](mailto:siemens@prap.co.jp)